

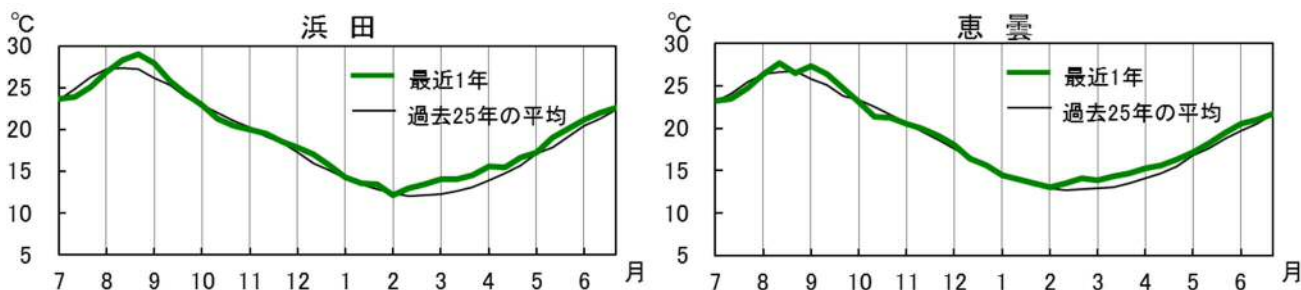


(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

<https://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《6月の海況》



6月	浜田			恵曇		
	評価	平均	平年差	評価	平均	平年差
上旬	やや高め	22.0℃	+0.6℃	やや高め	21.1℃	+0.4℃
中旬	やや高め			平年並み		
下旬	平年並み			平年並み		

## 《6月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類主体の漁況でした。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の7割、サバ類は平年の1.2倍でした。隠岐地区ではマイワシ、ウルメイワシ、マアジ主体の漁況で、1統1航海当りの漁獲量は76.6トンで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マイワシは6,305トンで平年の1.8倍、ウルメイワシは4,883トンで平年の4.4倍、マアジは1,065トンで平年の5割でした。

## 【イカ釣漁業】

浜田地区（属地5トン以上）ではスルメイカ（全体の76%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は281.3kgで平年を上回りました。西郷地区（属人5トン以上）ではスルメイカ（全体の100%）が主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は213.9kgで平年を上回りました。

## 【ばいご漁業】

石見地区ではエッチュウバイを主体に、総漁獲量は38.1トンと平年の1.5倍、1統1航海当たりの漁獲量は1.3トンで平年の1.3倍でした。エッチュウバイの漁獲量は35.3トンで平年の1.6倍、銘柄別では「中」「中大」および「大」の3銘柄で全銘柄の7割以上を占め、特に「大」は14.0トンと平年の1.9倍でした。

## 【しいら漬け漁業】

6月から始まった石見地区のしいら漬け漁業はシイラ、ヒラマサ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は784kgと平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、シイラは23.6トンで平年の7割となり、ヒラマサは672kgで平年の1割未満でした。

## 【定置網漁業】

出雲地区ではホソトビウオ、マアジ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は19.5トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ホソトビウオは平年の4割、マアジは平年の5割でした。石見地区ではマアジ、ケンサキイカ主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は17.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、マアジは平年の4割、ケンサキイカは平年の5割でした。隠岐地区ではブリ、サバ類主体の漁況で、1経営体当りの漁獲量は24.8トンで平年を下回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ブリは平年の6割、サバ類は平年の2倍でした。

## 【釣・縄】

出雲地区ではケンサキイカ、スルメイカ、キダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は24.9kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の1.1倍、スルメイカは平年の3倍、キダイは平年の1.2倍でした。石見地区ではケンサキイカ、スルメイカ、アマダイ主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は22.9kgで平年を上回りました。魚種別の漁獲量の動向は、ケンサキイカは平年の1.2倍、スルメイカは平年の3.8倍、アマダイは平年の7割でした。隠岐地区ではスルメイカ、カサゴ・メバル類主体の漁況で、1隻1航海当りの漁獲量は26.5kgで平年並みでした。魚種別の漁獲量の動向は、スルメイカは平年の7割、カサゴ・メバル類は平年の9割でした。

【令和3年6月の漁獲統計】

漁業種類	地区	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1隻(統)1航海当り漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
中型まき網	浜田	マアジ、サバ類	—	—	—	—	—	—	—
	隠岐	マイワシ、ウルメイワシ、マアジ	12,637トン	248%	166%	76.6トン	220%	146%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	スルメイカ	6.2トン	63%	48%	281.3kg	254%	221%	◎
	西郷	スルメイカ	35.7トン	91%	113%	213.9kg	106%	135%	◎
ばいかご	石見	エッチュウバイ	38.1トン	136%	149%	1.3トン	100%	131%	◎
しいら漬け	石見	シイラ、ヒラマサ	24トン	41%	47%	784kg	53%	58%	▲
定置網 (大型)	出雲	ホソトビウオ、マアジ	273トン	53%	53%	19.5トン	53%	52%	▲
	石見	マアジ、ケンサキイカ	71トン	91%	64%	17.8トン	91%	64%	▲
	隠岐	ブリ、サバ類	74トン	80%	74%	24.8トン	80%	74%	▲
釣り・縄	出雲	ケンサキイカ、スルメイカ、キダイ	49.1トン	111%	96%	24.9kg	121%	117%	◎
	石見	ケンサキイカ、スルメイカ、アマダイ	62.7トン	149%	103%	22.9kg	129%	115%	◎
	隠岐	スルメイカ、カサゴ・メバル類	33.8トン	111%	110%	26.5kg	95%	117%	○

※ 平年比：過去5年（沖底のみ10年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下

※ 大型定置網漁業のCPUEは1経営体当り漁獲量を示す。

- ※ 水温の評価「はなはだ○○」：約20年に1回の出現確率である±2℃程度の高さ  
「かなり○○」：約10年に1回の出現確率である±1.5℃程度の高さ  
「やや○○」：約4年に1回の出現確率である±1℃程度の高さ  
「平年並み」：約2年に1回の出現確率である±0.5℃程度の高さ